

令和元年度 公民館予算書

1. 収入の部

(単位：円)

項 目	内 容	本年度予算額
前年度繰越金		168,430
分 配 金		2,684,570
補 助 金		110,000
合 計		2,963,000

2. 支出の部

項 目	内 容	本年度予算額
会 議 費		240,000
部 員 報 酬		460,000
総 務 費	交際、借上、慶弔 等	50,000
事 務 費	消耗、印刷、通信 等	80,000
事業費 (一般、新規 重点事業)	①川路通学合宿	90,000
	②天龍峡夏期大学	215,000
	③運動会	280,000
	④成人式	150,000
	⑤文化事業	30,000
	⑥体育事業	190,000
	⑦広報事業	220,000
	⑧学級講座	150,000
	⑨ブロック事業・その他事業	60,000
支 援 金 (補 助 等)	①分館交付金	633,000
	②グループ援助金	15,000
	③図書分館交付金	20,000
	④フェスタ補助金 (小学校PTA)	34,000
	⑤フェスタ補助金 (教育育成)	16,000
そ の 他	スポーツ文化振興基金積立	30,000
合 計		2,963,000

**地域課題を把握し、「学習」を通じて
解決策を考え、事業につなげる**

令和元年度 公民館事業計画

- ①学級・講座
 - ・川路通学合宿
(6月5日(水)・8日(土))
 - ・第67回天龍峡夏期大学
(7月24日、25日、31日、8月18日)
 - ・第31回川路の明日を考える研究集会(2月2日)
 - ・さわやか会(毎月1回)
 - ・すすすく学級(毎月1回)
 - ・歴史文化セミナー(毎月1回)
 - ②文化部会
 - ・第67回天龍峡夏期大学
 - ・いいだ人形劇フェスタ川路地区公演(8月1日、2日、4日)
 - ③体育部会
 - ・分館対抗ソフトボール大会
(6月30日(日))
 - ・分館対抗バレーボール大会
(9月8日(日))
 - ・川路地区運動会(11月3日(日))
 - ・ニユースポーツ大会(1月26日(日))
 - ④広報部会
 - ・館報かわじ発行
(6月、9月、12月、3月)
 - ⑤Dブロック(上久堅、千代、龍江、川路三穂)事業
 - ・小学生交流会(時期未定)
 - ・Dブロックバドミントン大会
(9月29日(日))
 - ・Dブロック交流スポーツ大会
(2月頃)
 - ⑥市民館事業
 - ・館報研修会(時期未定)
 - ・女性バレーボール大会
(11月10日(日))
 - ・第57回飯田市公民館大会
(2月16日(日))
 - ⑦その他
 - ・飯田市成人式(1月12日(日))
 - ・人権教育講座(11月頃)
 - ・風作り教室
 - ・カルタ大会



発行 川路公民館
編集 広報部会
印刷 飯田共同印刷(株)

—川路の人口—

令和元年 5月末現在		平成30年 5月末	増 減
	人	人	人
男	943	947	- 4
女	1,036	1,049	- 13
計	1,979	1,996	- 17

公民館活動に向けて

館長 今村 裕弘



今期
 から公
 民館長
 を務め
 させて
 いただ
 きます
 2区の
 今村で
 す。よ
 りしく
 お願い
 します。

公民館主事が変わりました



氏名 林 亮介
年齢 26歳
血液型 AB型
婚姻有無 未婚
職務履歴 平成28
年4月入庁↓農業
課で3年間勤務↓
平成31年4月から
川路公民館主事

11・3運動会に向けて



本年度は「川路地区運動会」の開催年度で

今年度の文化事業



本年度

読んでいただける館報へ



今年度の広報部の目標は、昨年度に引き続き

特技 サッカー、けん玉

4月から川路公民館主事としてお世話になっております。慌ただしい日々を過ごすうちにあっという間に数カ月が過ぎました。川路のことも公民館のこともまだまだ分からないことばかりですが、地域の方々に教えてもらい、支えてもらいながら、やりがいを持って仕事に取り組んでいます。私も「主事として地域のた

めに何が「できるか」を常に考えながら、地域の方々と一緒にあって取り組んでいきたいと思っています。

川路は飯田市の中でも数少ない、人口が増えている地区と聞いています。まずはその魅力ある地域を知り、地域の皆さんを知り、また地域の皆さんに私のことを知ってもらえるように頑張りたいと思います。これからどうぞよろしく願います。

民館には各分館長、主事さん、委員からなる体育、文化、広報部会があり、一体となり事業を企画、展開をしています。元号も「平成」から「令和」となり、私をはじめ委員の皆さんも新しくなりゼロスタートです。基本を大切に、世の中の動きにあった事業企画を考えて行きたいと思っています。

チーム公民館として、地域の皆さんが気軽に参加でき、楽しく交流、学習が図れる、そして笑顔になれるような活動をしていきたいと思っています。地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

は雨天中止となつてしまいましたが、例年楽しんで頂けための工夫がなされていきます。今回もその流れを引き継ぎつつ、参加された皆さんに称賛の声が頂ける楽しい運動会になる様、部員一人になり種目内容等練つて準備が進められております。11月3日は「競技する人」「応援する人」「サポートする人」と様々な立場の人がそれぞれの観点から『運動会』を楽しみましょう。

また、他の体育部の行事を通じ、地区の皆様が喜んで参加して頂き、汗を流して親睦の輪ができればと願っています。

回天龍峡夏期大学と、8月1日開催のいいだ人形劇フェスタ川路地区公演となります。

天龍峡夏期大学では、8月18日に片山右京さんからチャレンジする生き方についてお話いただくほか、観光資源を活かした地域づくりや、介護予防、宇宙といった幅広いテーマを設定しました。是非多くの皆さんに参加いただきますようお願いいたします。

文化部では皆さんが「参加してよかった」と考える事業となるよう精一杯取り組みます。皆さんのご協力をお願いします。

くわかりやすい記事にしたいと思います。

みなさんが館報を見て、公民館活動に興味を持っていただけよう、そして、たくさんの方が行事等に参加して、川路全体が今以上に盛り上がっていきけるような館報づくりを目指します。

館報に対する、ご意見ご要望、載せてもらいたい記事などありましたらぜひ、お寄せ下さい。

よろしくお願い致します。



川路公民館マスコット



断面

新元号が発表されて一か月がたち、新しい時代が始まるうとしている。だからといって、日々の生活が大きく変わるわけではない▼今朝も家中の電化製品が、忙しなく機械音を鳴らして私を呼んでいる。このマニュアル化され機械化された日常に、人間としての魂を吹き込んでくれるのは、子ども達の声だ。覚えたばかりの言葉をつないで、必死に何かを伝えようとする姿に心揺さぶられるのは、いつの時代も同じではないか▼新元号「令和」は、初めて日本の古典「万葉集」から引用された。インターネットやSNSが普及し、家族のコミュニケーションでさえ希薄とされる現代に、万人の言の葉が集まった万葉集が選ばれたことは、何かメッセージがあるのかとさえ感じてしまう▼新しい時代に、子ども達の安寧を願うのは当然だ。だからこそ、先人が紡いできた言葉の持つ力を、もっと大切にしなければならぬのか。古き時代に想いをはせつつ、今日も慌ただしい一日が終わろうとしている。

日頃より川路消防団の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。本年度川路消防団の分団長を



中島陽一分団長



去る4月14日(日)第3回名勝天龍峡ハーフ・リレーマラソンが行われた。天龍峡お祭り広場を発着点とし、

約400人のランナーが春の天龍峡を走り抜けた。午前10時に一斉にスタートし、桜街道などを走る2.1

交流を深めるすばらしい大会となった。



天龍峡花祭り

第3回「名勝天龍峡ハーフ・リレーマラソン大会」



キロの周回コースを10周した。ランナーの中には、映画などのキャラクターのコスチュームで走り、大会を盛り上げたチームもあった。平成最後の大会でチーム優勝したのは、記録1時間20分47秒で川路AC。また、川路小学校からは、4年生9名のチームが参加し、小学生の部で5位に入賞した。春めく天龍峡で、健康とランナー間の

標語
「ひとつずつ
いいね！で確認 火の用心」

(2019年度 全国統一標語)

務めさせていただきまます8区の中島と申します。本年度もすでに消防団としての活動は始まっておりますが、現在は6月に行なわれる飯田市消防技術大会に向けて訓練を行ない技術力の向上を図っております。

昨年度、川路地区は飯田市から無火災賞をいただく事ができましたが、残念ながら年度末にかけて火災が

シリーズ企画

巻ノ吉

かわじの「コレ」しった？

みなさん、コレ知ってました？なせ川路には1区がないのでしょうか。

川路は、明治22年の町村制の施行で下川路村となり

ました。同年、村議会が開催され、地区内を8つに分割しそれぞれを1区から8区と呼ぶことになり、「島の平」と呼ばれていた現在の時又嶋地区が、川路1区でした。



島は昭和3年から19年まで伊那電の「開善寺前駅」があり、付近に桜も植えられ、商店、自転車屋、酒屋などがあり、賑わっていました。しかし、昭和43年、島は時又地区に編入されることとなります。江戸時代から300年以上川路の所

属であった島が籍を移す大きな原因となったのは、「三六災害」でした。川路に甚大な被害をもたらしたこの災害により、島の平のほとんどの家屋・田畑が浸水被害を受けました。大きな打撃を受けた島の住民の皆さんはその後、多くが時又地区や上川路地区に移住し、最盛期に40戸以上あった戸数も昭和43年当時は10戸足らずにまで減っていました。災害後、島地区のほとんどが建築制限を受けたことで、戸数の増加は望めないという事情もあり、島に残っていた住民の皆さんは、上川路や時又地区に移住された皆さんとのつながりから時又地区に編入を願いました。



住民の皆さんの願いが届き、時又編入が決定し、川路から1区はなくなりました。ちなみに1区の源氏名は、「曙(あけぼの)」でありました。(参考文献「島の記」今村定男著)



○窓口(戸籍担当)
4月に自治振興センター職員の異動がありました。5年間勤務された熊谷和朗さんが林務課へ異動し、納税課から椎名俊之さんが着任されました。

新任職員紹介

○公民館主事
4年間勤務された小池勝士さんが丸山公民館へ異動し、農業課から林亮介さんが着任されました。

お知らせ

- 6月28日 川路小学校音楽会
- 7月5日 保育園夏祭り
- 7月13日 川路祇園祭
- 7月31日～8月5日 いいだ人形劇フェスタ
- 9月7日 天龍峡をどり



講習会に参加した皆さん



川路小4年生 5位入賞



マラソン 優勝チーム



無病息災を願う稚児



開会式で舞う龍神



3月24日(日)川路ACと川路公民館共催で、竜峡地区の約50人の親子が参加しま



した。今回来て頂いた講師、平塚 潤先生(選手・日本体育大学卒業後、S&B食品陸上部10年在籍、1993年ドイツで行われた世界陸上10000mに出場、指導者・元城西大駅伝部監督)による「走り方講習会」と管理栄養士の吉田千穂先生による「小・中学生のための食育講座」を天龍川総合学習会館「かわらんべ」で行いました。平塚さんからは、ウォーミングアップのやり方から腕振りや走り方について、吉田さんからは、幼少期における朝食や炭水化物の大切さを教わりました。走り方講習会終了後、かわらんべの周回コース(約3km)を走るクロスカントリレースを開催しました。小学生に混じって、保育園児も親子で楽し

しそうに走っていました。